

# DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

## CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区  
大東ロータリークラブ

- 事務所  
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10  
ポップタウン住道本館4階  
TEL: 072-875-1200  
FAX: 072-875-0590  
E-mail: office@daito-rc.org  
http://www.daito-rc.org/
- 例会  
毎週火曜日 12時30分～1時30分  
〒574-0076 大東市曙町4-6  
大東市民会館 4階「大会議室」  
TEL: 072-871-0001

### ◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



ROTARY  
SERVING  
HUMANITY

創立 1967年12月26日

- 会長 大東 弘
- 幹事 田川 和見
- 会報委員長 小林 誉典

大東ロータリー会長テーマ

「温故知新」

2016年～2017年度  
国際ロータリーのテーマ

人類に奉仕するロータリー

第2660地区ガバナー方針  
「The Ideal of service」

国際ロータリー会長

ジョン・ジャーム

松本 進也

平成29年4月25日

No.2375

H29.4.18 (No.2374の例会記録)

### 今週の卓話 (4月25日)

「 雑 感 」

谷中 宗貴 会員

### 次週の予定 (5月9日)

「 薬物乱用防止への取り組みについて 」

担当 小川 芳男 会員

ゲストスピーカー 大内 啓子 氏

### 先週の例会報告

#### ◆ 出席報告 (4月18日分)

会員数 40名 出席数 31名 欠席者 5名

特定免除 4名 その他免除 0名

出席率 86.11%

前々回4月4日分

ホームクラブの出席者 25名 73.53%

メイクアップの結果 32名

特定免除 6名 その他免除 0名

欠席者 2名 修正出席率 94.12%

### お知らせ

- ・4/25 第4回 会長・幹事会
- ・5/9 第6回(新旧合同)クラブ協議会 例会後
- ・5/9 2017-18年度 第2回クラブ協議会
- ・5/13 地区 クラブ職業奉仕新旧委員長会議  
10:00～
- ・5/16 青少年奉仕委員会 情報集会 18:00～
- ・5/27 地区 青少年奉仕正副委員長会議・  
ワークショップ 13:00～



### ニコニコ箱

3RC 合同例会につき割愛

## 会長の時間

皆さん今日は。

大東RCの大東 弘でございます。本日は3RC合同例会であり、本年度のホストを務めさせて頂いている関係上、僭越ながら会長の時間を務めさせていただきますので宜しくお願いいたします。

そして、富永ガバナー補佐・宮田ガバナー補佐エレクトにおかれましては、お忙しい中ご出席を賜りありがとうございます。また後ほどの卓話も宜しくお願いいたします。



私が最近読んだ、ある雑誌に「大東」という不幸と書かれた記事がありました。記事には、「大東」という市の名称は、大都市大阪を意識して「光は東方から」ということから名付けたといわれており、高度経済成長がはじまる直前当時の人々の志は理解できなくはないが、まったく歴史性を感じさせない市の名称は市民にある意味「不幸」をもたらしている。また、大阪の東というイメージは後に東大阪市のものとなり、大東の歴史は四條畷市にもっていかれるとの記事でありました。

確かにこの地域の歴史で有名なのが、皆さんご存知の「四條畷の戦い」であります。この戦いの主要合戦場は、条里制の四条であり、(畷)とは、真っ直ぐな道のことを言い東高野街道のことでありまして、現在の大東市北条1・2丁目付近であると言われております。当時のこの地域は、飯盛山の裾野が深野池に張り出している「野の岬」である野崎をどちらが占領するかが、戦いの帰趨を決める重要な場所であったそうです。

そして、飯盛山には、「飯盛城」がありました。四條畷の合戦から212年後、三好長慶が高槻の芥川山城から飯盛城に居城を移し、首都である京都を押さえ、畿内(すなわち当時の天下)を治めていたそうです。それは、1718頃にオランダで発行されたシャトランの「歴史地図帳」という書物に、日本の統治者の遍歴が説明されており、内裏(天皇家)・公方(足利将軍家)に続き、「三好殿」とあり「信長」「羽柴太閤」そして「秀頼」「徳川家康」と記載されており、西洋人のなかでの三好長慶は天下人だったのであります。大東・四條畷、行政は違いますが、私たちは、同じ歴史を共有する地域であります。

今、大東市は市制60周年を迎えています。その中で、新しい取組として、大東・四條畷両市またがる飯盛山に有った三好長慶が居城とし天下を治めた、飯盛城跡を大東・四條畷、両市が協力して、国史跡指定を目指しているとのこと。私達、3ロータリークラブも何らかの協力が出来れば、と思っております。

最後になりますが、本年、ロータリーの年度は替わりますが、12月に大東ロータリークラブは創立50周年を迎えることとなります。橋本新会長・藤本実行委員長のもと、準備を進めております。四條畷RC・大東中央RC皆様方の、ご理解とご協力を、よろしくお願いいたしまして、会長の時間とします。

ありがとうございました。

先週の卓話

「 3RC 合同例会

富永ガバナー補佐、宮田ガバナー補佐エレクト訪問 」



国際ロータリー第 2660 地区

IM3 組 ガバナー補佐 富永 良太 氏

卓話の時間に、ご挨拶をかね、新 IM 体制についてわかりやすくお話しいただきました。



国際ロータリー第 2660 地区

IM3 組 ガバナー補佐エレクト 宮田 明 氏

3月25日に開催しました3組ロータリーデーをくずはRCがホストを担当し、会長をはじめ、多くの会員の方々にご参加いただき、ありがとうございました。

皆様のおかげで、何とか、無事に開催する事が出来ました。2017年～2018年 RI、並びに 地区の方針などを、ご報告します。

2017年～2018年 RI のイアン・ライズリー会長のテーマは、

“ROTARY : MAKING A DIFFERENCE”

日本語訳 ロータリー : 変化をもたらす であります。

趣旨は、

ロータリアン・ロータリークラブ・地区は、その特性を活かして、積極的に、ロータリーの奉仕活動に参加することが その地域社会に、よい変化をもたらし続けるという内容です。

これを受けて、次年度片山ガバナーエレクトは 第 2660 地区 2017～2018 年度地区 スローガンを “個性を生かし、参加しよう” といたしました。

その「個性」とは、

クラブの特性、地域の特性を汲み取り、そこでの奉仕活動を行う事が ロータリーの理解に繋がり、又、その親睦が図られ、仲間が増える事に繋がるという考えであります。

次に、2017年～2018年度の地区の具体的な目標としては、

**基本理念と奉仕活動の実践** とは、

ロータリーの基本理念については、変えてはならないもの、奉仕活動については、進化すべきものと言っております

ロータリーは、「理念」と「奉仕活動」のバランスのとれた両立であると考え、この二つがバランスのとれた両立でもって、クラブ運営を目指してほしいと考えております。

「奉仕活動」は、ロータリアン各個人の異なる特性に応じた奉仕活動の参加にあり、クラブの特性、地域の特性にあった奉仕を進めてほしいというものです。

・奉仕活動の進化とは、

クラブの単独事業だけでなく、共通の価値観をもつ人々や団体との共同の奉仕活動も、考えては、どうかと言っているもので、例えば、ロータリー学友、ローターアクト、クラブ間、地区間、国際間の共同活動など地域の共通の価値観を持つ団体、企業、個人との共同活動など。

**戦略計画（将来構想）の推進** については、

**魅力のある・元気のある・個性のあるクラブ**として、有り続ける為には、クラブとして、どのようなクラブになる事が、ふさわしいのかその課題を把握し、課題を分析し、中期計画（3～5年）を立案し、その為の実践を進めて頂きたいというものです。

2016年の規定審議会において、「クラブの目的・目標を明確化する」と決定しております。

地区においても、継続性が重要な委員会の委員長の任期を3年といたします。

各クラブでのその名称は違っても、このような委員会を設置して頂き又、設置されている委員会は、是非とも、目的、目標を明確に打ち出して頂きたいと考えている処であります。

米山につきましては、

財団創立50周年を迎え、記念事業が発表される予定であり、それへの参加のお願い

ポリオ撲滅 については、

現在 発症国は、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの 3 カ国になり、撲滅に向けて、引き続き寄付支援のお願い

公共イメージ向上 については、

地区の広報委員会 名称を 広報・公共イメージ向上委員会と変更します  
内向きでなく、外向きの姿勢を強調したいと考えております。

① マイロータリー登録率 50% 目標としています。

世界は、もちろん、RIにおいても、IT化が、すごいスピードで進化している事 並びに、ロータリーの情報の受発信をオンライン化させていこうとしているものであります。

本年 7月15日 「公共イメージセミナー」を開催致します。

マイロータリーについての周知、発信、活用などを各クラブに支援指導する内容の計画を立てております。

② クラブの奉仕活動などを外部のメディアへのアプローチをする事で、ロータリーの広報や地域社会でのロータリーの「公共イメージ」を向上させる為に、地区の委員会は、その支援をする為の具体的な内容を検討しており、後日、発表される予定であります。

会員増強については、

各クラブ、 純増2名を目標と考えておりますので、よろしく申し上げます。

年次寄付の年間目標につきましては、

- |   |             |       |       |
|---|-------------|-------|-------|
| ① | ロータリー財団年次寄付 | 1名あたり | 150ドル |
| ② | ポリオ撲滅       | 1名あたり | 50ドル  |
| ③ | ベネファクター     | 各クラブ  | 1名    |
| ④ | 米山奨学寄付      | 1名あたり | 3万円   |

次年度の地区の方針は、ロータリーの「持続可能性」であります。

「多様性、柔軟性、自主性、継続性」を理解して頂き、中期計画の立案、実行、奉仕活動の充実、クラブにあった、地域にあった特性や、個性のあるロータリークラブを目指して頂きたいと考えている事です。

以上で、次年度片山年度の RI 並びに 地区の概略について、報告させていただきました。

